

EMS マネジメント

レビューを実施しました。

目次

・EMS マネジメントレビューについて

1 ページ

・市民公開講座を開催しました

2 ページ

・EMS 事務局からのお知らせ

3 ページ

2月8日に松江キャンパスにおいて、服部学長による EMS マネジメントレビュー(見直し会議)を開催しました。EMS が適切でかつ有効であることの確認のため、年に一度実施されることになっています。医学部 EMS 対応委員会委員長の名越委員長から令和 2 年度の出雲キャンパスでの EMS の取り組みについて説明を行いました。学長から今年度の反省点と来年度に向けた課題として次の事項が挙げられました。

- ・全般的に EMS 活動は順調に実施している。
- ・コロナウイルス感染症が EMS の継続について少なからず影響を及ぼすと考えられるが、引き続き維持していく。
- ・現行の環境方針を維持していくとともに島根大学で取り組んでいる「持続可能な開発目標 (SDGs)」活動に加え脱炭素社会の実現(カーボンニュートラル)への取り組みも念頭において、EMS 活動に取り組んでいただきたい。



出雲キャンパス
EMS 実施委員会

医学部及び附属病院
EMS 対応委員会

市民公開講座を開催しました

環境教育・環境研究作業部会では、本学の環境研究成果を地域に還元する一環として平成19年度より毎年1回、環境に関する市民公開講座を開催しています。令和2年度は2月11日（木・祝）に「ウィズ・コロナ～新型コロナウイルスがいる環境～」と題して実施しました。この公開講座は本来昨年12月19日に開催する予定でしたが、当時本校出雲キャンパスも含め出雲市内で新型コロナウイルス感染症患者の発生が相次いだことから延期となっていたものです。

現在、全国的に新型コロナウイルスの第3波の流行の最中にあります。毎日のニュースでは緊急事態宣言が継続している10都府県での切迫した医療の動向が報道され、それを視聴することで不安になる方も多いことでしょう。一方で、1日あたりの感染者発生数は一旦峠を越え、これからコロナウイルスのワクチン接種がはじまることになるなど、少しずつ状況は変わりつつあるようです。1年間コロナ対策の最前線で活躍してきた保健所では、これまでの状況、今後の見通しをどのようにとらえておられるのか、どのようなことに気を付けて日々の暮らしをしていけばよいのか、島根県出雲保健所長の中本稔先生に、1時間にわたってお話していただきました。

まず、私たちが気を付けなければいけないのは、感染した人ではなくウイルスそのものであると強調されました。次に、コロナウイルスが、接触感染、飛沫感染（あるいはわずかな時間空気中に漂っているものを吸い込むことによって起きる感染）でうつることを示していただき、ウイルスとの接触を減らすために消毒、換気、人込みを避ける、人にうつさないためにマスクや咳エチケットをする、などの方法があり、それを組み合わせれば感染を防ぐ効果が高まることわかりやすく説明されました。また、感染しても発症しない、重症化しないために日頃の健康管理やワクチンが大切であることも教えていただきました。キーワードは「免疫力」、「しなやかな血管」、「いつもと違う体調に気づく」ということだそうです。また、島根県では現在のところ、非常事態宣言下にあるような都府県と比べれば医療に若干の余力があるようですので、体調の変化が気になる際にはすぐに医療機関などに相談してもよいとのことでした。

最後に、健康づくりのヒントとして、余裕のある「しなやかなところ」を持って、近所とのお付き合いなど周囲への気遣いができることも大切、とまとめていただきました。

島根県は都会とは全く違う感染の状況ではありますが、感染者数は300人近くなりました。自分が感染しない保証はありませんので、なるべくかからないよう、広げないよう、今後も長期間にわたって気を付けていかなければなりません。そして、かかってしまった人がいてもそれを自らのことと捉えて、人を責めない優しさが求められます。今後数年間に及ぶ新型コロナウイルスと共存する環境で、私たちはどのように過ごせばよいか理解できる時間となりました。

一度の延期を経ての開催でしたが、今回は24名もの参加をいただきました。活発な意見交換が行われ、感染症を取り巻く環境と健康に関する市民の皆様の関心の高さが伺えました。

今後も本学のEMS活動を市民の皆様に広く知って頂けるよう、こうした公開講座を継続して開催していきたいと思っております。



市民公開講座の様子

EMS 事務局からのお知らせ

廃棄物回収マニュアル Ver.8 をご覧ください。

島根大学
出雲キャンパス

廃棄物回収マニュアル

Ver.8



廃棄物回収マニュアル Ver.7 を作成してから、6年の歳月が経過し、その間に生じた組織名称の変更、新設・廃止を反映し、環境省からの指針を踏まえた感染性廃棄物の判断フローチャートや附属病院内で制定された抗がん剤曝露マニュアルの廃棄物処理等を追加掲載した廃棄物回収マニュアル Ver. 8 を令和2年1月付で作成・公表しています。

廃棄物の処理については、まず各自で確認いただき、廃棄物の適切処理にご協力願います。

(HP 掲載場所)

医学部 HP / 出雲キャンパス EMS 関係 / 学内関係者向け：学内関係規則・マニュアル等

https://www.shimane-u.ac.jp/intra/ems_izumo/ems_izumo06.html

EMS 事務局からのお知らせ

学内関係者には、EMS 関係会議の議事録、EMS 研修の資料、環境に関する諸規則・マニュアル等が参照できますのでご利用ください。

その他、EMS に関するご意見等ございましたら、以下の連絡先又はホームページ「キャンパス環境投書箱」へお寄せください。

- 島根大学出雲キャンパス EMS 事務局
会計課施設管理室環境マネジメント担当
TEL 0853-20-2549
FAX 0853-20-2049
E-Mail fpd-ikankyo@office.shimane-u.ac.jp

- 島根大学ホームページ「環境マネジメントシステム」
出雲キャンパスでのEMS活動内
キャンパス投書箱
URL : <https://www.leaf2.shimane-u.ac.jp/enquete/no/s40lGkBPgJ>